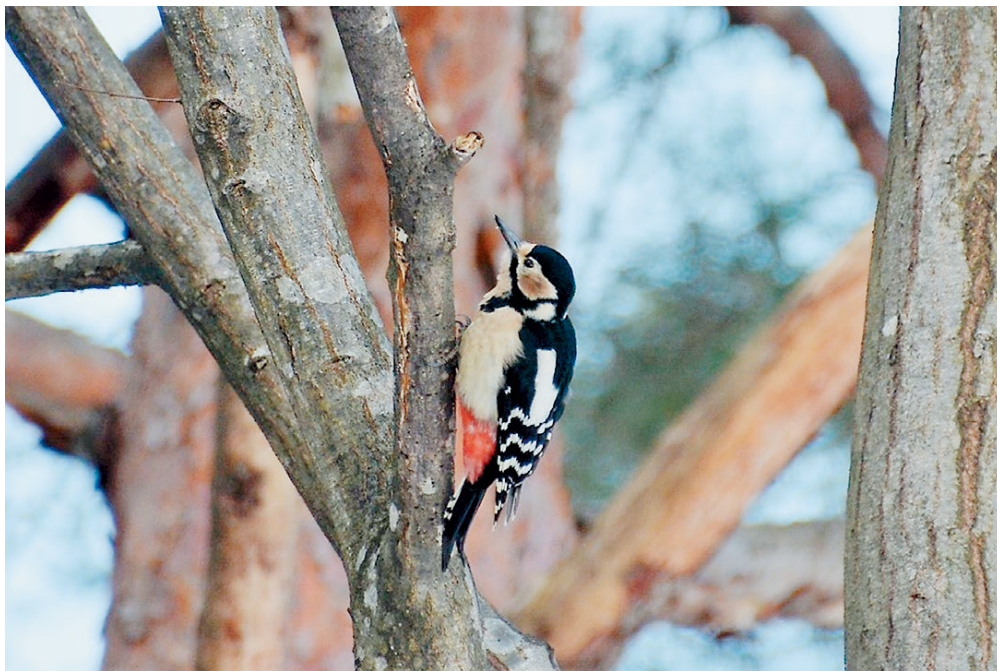


## アカゲラ (学名: *Dendrocopos major*)

【キツツキ目キツツキ科】



▲ 樹木の幹の中にある昆虫を探すアカゲラ

アカゲラは、ユーラシア大陸のヨーロッパから中東、シベリア、アジアにかけて、主に留鳥りゅうちょう（渡りをしない鳥）として広く生息するキツツキの仲間です。只見町ではアカゲラとよく似たオオアカゲラも見ることができます。アカゲラが全長およそ24cmなのに対してオオアカゲラは28cmと一回り大きいこと、また、アカゲラは黒い背に大きな白い斑があり、オオアカゲラは胸から腹にかけて黒い縦斑が入っている点で識別することができます。

アカゲラは、平地から山地の樹林を主な生息環境としており、町内ではしばしば見かけることのできる野鳥です。「キョ キョ」という声で鳴き、しばしばドラミングをします。キツツキのドラミングは、なわばりの誇示などのために高速で樹木の幹を突いて音を出す行動で、森に響き渡るようなタラララという軽快な音が出ます。また、幹の枯れた部分に穴をあけ、材部をむしり取る様子を見ることがあります。これは、幹に巣くうカミキリムシの幼虫などを掘り出して食べているところで、こうして幹に穴をあける音は林の中で大きく聞こえるので、大きな動物がいるのではと思うほどです。アカゲラは、昆虫類をよく食べますが、秋冬にはホオノキの種子など植物質のものもよく食べ、季節に応じて食べ物が変化します。

### 企画展 「只見の山を眺めれば…そこにある樹木に気づく企画展」

期 間：開催中～令和2年3月30日(月)

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー